

ボーリングマイスター 『匠』東北に認定されて

株式会社高田地研 飯坂 賢一



この度は、土木地質株式会社様のご推薦により、(一社)東北地質調査業協会様から「ボーリングマイスター(匠)東北」の認定をいただきまして有難うございます。

今日までご指導いただきました諸先輩方や、これまで支えていただいた弊社社長はじめ社員の方々のお陰と感謝しております。

私自身、元々は弊社の外注先として仕事をしており、縁あって社長より一緒に仕事してみないかと言葉をかけてもらい現在に至っております。

入社後は調査ボーリングを含め様々なボーリング工事も経験させていただきました。

最近では弊社でも調査ボーリングに携わりたいと言う若手社員も増えており、私としても嬉しく思っております。

私たちが行う地質調査では急傾斜地や崩壊の進む災害現場が多く、いかに危険な場面においても安全且つ効率良く業務を遂行することが大切であり、常日頃から若手社員に“他業者さんの現場を見ることも勉強だよ”と伝えております。常に心掛けていることは、井の中の蛙にならないように多くの現場を見ることによって新たな技術を学び吸収でき、その姿勢も大切な一つと考えています。

そうした中、安全を考慮し制作したのが、ボーリングマシンのホイストカバーの改良でした。付き合いのある鉄工所さんと試行錯誤しながらの作業で、当初懸

念されたワイヤーの乱巻きも無く、解体時や運搬時にも問題なく使用できる画期的なカバーとなりました。

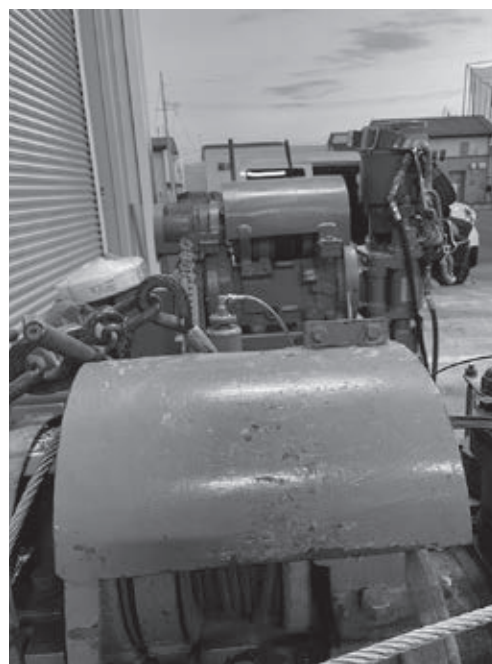
ボーリングマシンは操作や取り扱いを誤れば大きな事故にも繋がりがねない機械です。

いかに危険リスクを低減させるかも重要なことで、今後私が若手に伝えていかなければと考えています。

これからも自分自身更なる実績を積み重ね、微力ですが若手の成長を見守り若手オペレーター育成に努めてまいります。そして、業界の一助を担うよう努力を続けるところです。

最後になりましたが、(一社)東北地質調査業協会様の益々のご発展をご祈念申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。



ボーリングマイスター 『匠』東北に認定されて

那須建設株式会社 佐藤 則生



このたびは、奥山ボーリング株式会社様の推薦により、ボーリングマイスター(匠)に認定いただき大変光栄に思います。

ボーリングに携わって、早いもので36年になりました。

若い時は、静岡富士見峠の破碎帯や、岡山での温泉ボーリングワイヤーライン500mなどで技術を身に付けてきました。

近年では、奥山ボーリング株式会社様の阿部真郎博士様からのお誘いにて、JICAのプロジェクトでベトナムの地すべり業務に携わることもできました。

海外のボーリング技術は、まだ発展途中で、日本のボーリング技術の高さが感じられました。

現在のボーリングは、高品質なコアリングが当たり前になってきており、ダイヤなど工夫して開発したりしておりますが、使うオペレーターで使いこなせない状況になったりもします。

今後は、若い世代でも使いこなせるよう、技術指導に務め、他の業者とも技術を共有しあい、ボーリング業全体の技術アップが図れればと思っております。

最後になりますが、このような機会をいただき、大変感謝いたします。

ありがとう御座いました。